

有名な建築家だっただけでなく、建築史家・庭園史家・茶の湯研究者・歌人でもあった堀口捨己。複数のジャンルで一流といわれる人物を表現者として歴史的な位置づけを図る新しい堀口捨己像。

表現者・堀口捨己

—総合芸術の探求—

東京工業大学大学院教授

藤岡洋保

定価 24,150 円
(本体 23,000 円+税)

B5判上製函入 本文 308 頁

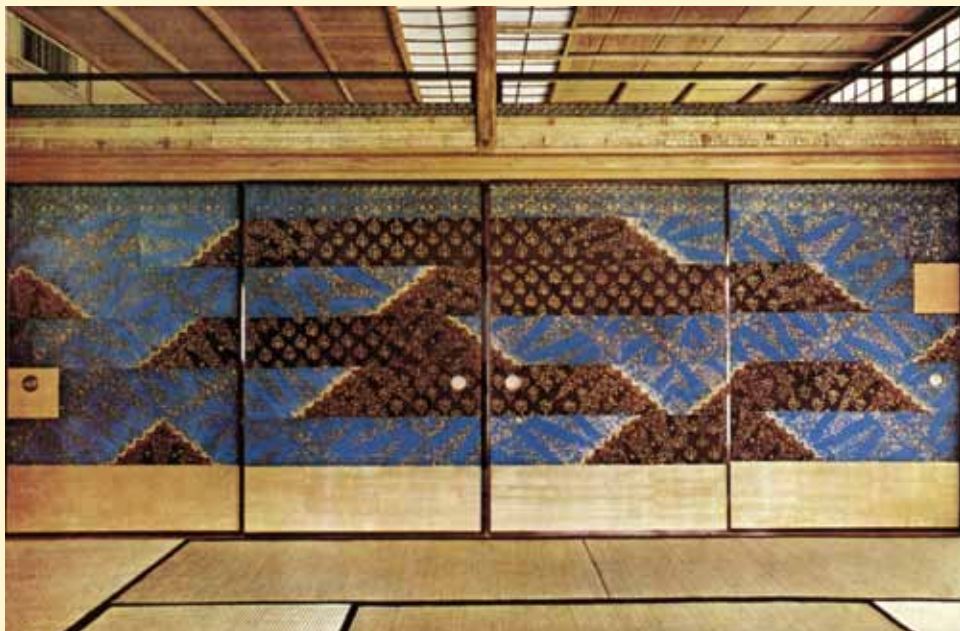
口絵カラー 24 頁 挿図 236 点

ISBN978-4-8055-0612-7 C3052

堀口の魅力として著者が注目するものに、多面的な活動や関心をひとつの有機的なかたちに統合していこうとする彼の強い意欲があげられる。そのキーワードは「表現」といえる。本書で示すように、堀口の中では、建築設計も、研究も、著作も、本の装幀も、「表現」であるという点でつながっていた。それは「建築家」という語ではカバーしきれない拡がりをもっている。本書のタイトルにある「表現者」は耳慣れない語かもしれないが、それこそ彼を形容するのにふさわしい語だという筆者の意図が込められている。

本書の論述対象のおもなものは、彼の言説と主要作品である。特に、彼の思想の形成過程や特徴について考察することと、主要作品のコンセプトや発表の仕方注目しつつ、言説と作品の関係、より具体的にはその間に見られる緊張感やせめぎあいを考察することを重視している。そして、そのような考察をもとにして、本書では、堀口の事績についての新たな知見を紹介するだけではなく、彼の歴史的な位置づけを図ることをめざした。要するに、新しい堀口捨己像を描こうとしているわけである。それは、彼を日本近代を象徴する人物のひとつとして描こうとしたということであり、彼の表現の特徴を言説と作品が複雑にからみあってダイナミックに展開することに見出そうとしたということでもある。

(著者「はじめに」より)



八勝館みゆきの間 横



「糸と光との塔」計画案

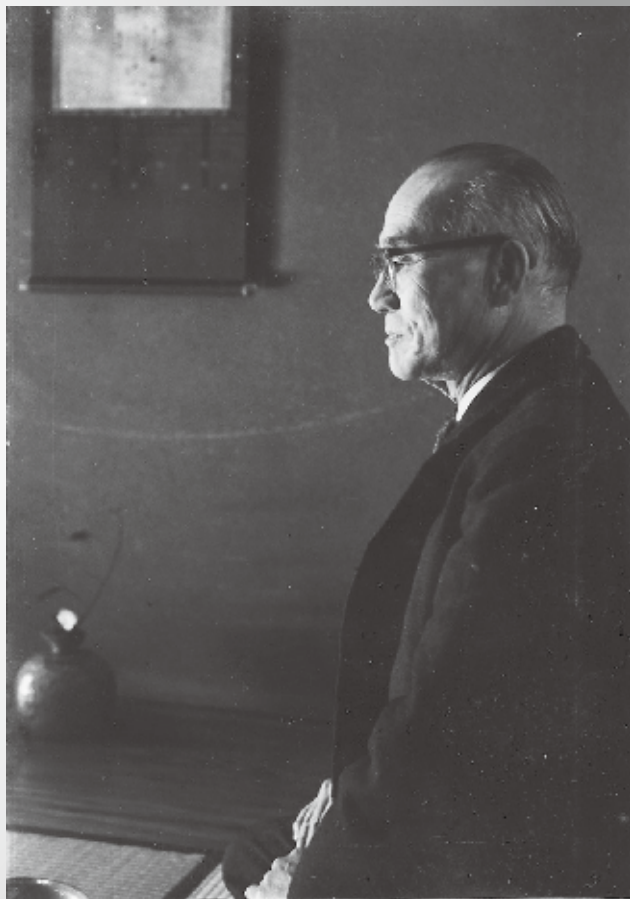
堀口捨己は日本近代を代表する建築家のひとりであり、近代建築を日本に導入しその定着を図ると共に、日本の建築的伝統との関係について深く考え、作品にその成果を反映させようとした。芸術家であるとともに、建築界のオピニオン・リーダーでもあった堀口の事績や思想を膨大な一次資料の分析をもとに実証的に語る初めての本格的評伝であり、意欲的な論考である。

ほり ぐち すて み 堀口捨己

(1895-1984)

建築家。岐阜県に生れる。大正9年(1920)東京帝国大学建築学科卒業。在学中、同級生石本喜久治(1894-1963)、山田守(1894-1966)らと分離派建築会を設立、その中心的人物となる。東京平和博覧会動力機械館(1922、現存せず)、大島測候所(1928)、岡田邸(1934)、若狭邸(1939)、第二次世界大戦後は明治大学校舎群のほか、サンパウロ・ビエンナーレ日本館(1954)、名古屋八勝館(1950-58)を設計。伝統建築の近代化にすぐれた力量を示し、書院造、茶室、庭園の卓抜な研究者としても知られる。

(『新潮 世界美術辞典』より)



著者略歴

藤岡洋保(ふじおか ひろやす) 1949年生まれ。東京工業大学大学院教授。1980年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了・工学博士。近代建築史専攻。明治大学助手、東京工業大学工学部助教授などを経て1996年から現職。著書・『清家清』(共著)、『建築家山田守作品集』(分担執筆)、『建築文化1996年8月号別冊／堀口捨己の「日本」』(共著)他。

目次

はじめに

一 分離派建築会——主体重視の建築論の展開——

一生い立ちから分離派建築会まで

二 分離派建築会の史的意義

三 洋行

四 平和記念東京博覧会

五 紫烟荘と双鐘居

六 吉川邸

二 「日本」への関心
——堀口捨己の建築思想の形成——

一 「様式なき様式」

二 昭和初期の「日本的なもの」と堀口捨己

三 茶の湯研究——「総合芸術家」千利休への傾倒——

四 岡田邸

五 大島測候所

六 若狭邸

三 「強い表現」の追求
——堀口捨己の美学の特徴「強い表現」の追求——

二 堀口捨己の和風建築

——八勝館と碕居を中心に——

三 第二次大戦後の鉄筋コンクリート造の作品

四 「桂離宮」——美学と学術の統合——

五 堀口捨己の人脈

四 堀口捨己に見る近代日本
——堀口捨己の「日本」——

一 堀口捨己の「日本」——普遍性と独自性の併存——

二 感性と理性のせめぎあい
——堀口捨己の「表現」の原動力——

図版リスト

堀口捨己作品・著作リスト

あとがき

お取り扱いは

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993 F A X 03-3561-5834